



藤沢市片瀬西浜

平塚市花水川左岸

小田原市酒匂川河口

藤沢市片瀬西浜

台風 18 号&19 号 過去最大規模のごみ量を記録 ダブル台風襲来

10月6日に神奈川県に襲来した大型の台風 18 号は、県内に激しい風雨をもたらしました。海老名市の降り始めからの雨量が 372 ミリを記録した他、県内の多くの地点で 10 月 1 ヶ月分の雨量の 1.5 倍から 2 倍もの雨が降りました。また、風も非常に強く、三浦市の最大瞬間風速は、38.5 メートルを記録しました。



逗子市逗子海岸

10月14日には、18号に続き、今季最強とまで言われた 19 号が神奈川県に最接近しましたが、陸路を縦断する間に勢力が衰えていたこともあり、総雨量は相模原市中央区の 104.5 ミリが最多で、三浦市で最大瞬間風速は 25.8 メートルにとどまりました。

台風 18 号通過後の 10 月 7 日には神奈川県下の海岸全域をパトロールし、大量のごみの漂着を確認しましたが、その段階で台

風 19 号が発生していました。



二宮町梅沢海岸

3 連休を控え、早急な清掃作業が必要な一方で、台風 18 号の大雨の影響で、それまで流域にたまっていたごみがすべて流され、19 号により追加でごみが漂着する可能性は少なく、逆に漂着したごみが高波で持っていられる可能性も高いので、海岸清掃の判断には大変迷いました。

そのような状況の中で全海岸を、①早急に全てのごみを除去する海岸 ②人工ごみと大きな流木のみを除去する海岸 ③台風 19 号の通過を待って改めて確認を行い清掃する海岸、の 3 つに区分し、10 月末までの完了を目標に作業を行うことにしました。

その結果、海岸利用客が多く見込まれる 11 月上旬の 3 連休までに清掃はおおむね完了することが出来ました。

今回のダブル台風の清掃概要をまとめると下記のとおりになります。

【かっこ内数字は平成 25 年 4 月爆弾低気圧通過時の数値】

- 1 清掃日数延 227 日間 (179 日)
- 2 清掃経費 2,333 万円 (1,531 万円)
- 3 清掃ごみ量

- ・可燃 605,725 kg (312,390 kg)
- ・不燃 42,160 kg (177,680 kg)
- ・合計 647,885 kg (490,070 kg)

ごみ処理量が、近年で最大規模であった平成 25 年 4 月の爆弾低気圧より多く、今回が過去最大規模のごみ量だったことがわかります。

また、過去 5 年間の可燃・不燃ごみの年間の合計処理量の平均が 2,313 トンで、今回だけで年間の約 1/3 弱の量に及び、被害がどれだけ大きなものであったかわかることでしょう。

【各沿岸市町の海岸ごみ量等の詳細は P4 の「台風 18 号・19 号における清掃工数・ごみ量の市町別一覧」のとおり】